

## 交通バリアフリーニュース



### 第2回バリアフリー推進四国地域連絡会議開催 ～バリアフリーリーダーを選定～

日 時：平成21年3月4日13:30～15:30

場 所：高松サンポート合同庁舎アイホール

出席者：徳島大学大学院近藤明男教授、(財)香川県視覚障害者福祉協会、  
(財)香川県身体障害者協会、(財)香川県手をつなぐ育成会、  
(財)香川県老人クラブ連合会、(社)全国脊髄損傷者連合会香川県支部、  
日本発達障害ネットワーク、四国旅客鉄道(株)、ジェイアール四国バス(株)、  
四国鉄道協会、各県・高松市バリアフリー担当部署（順不同）

四国運輸局と四国地方整備局は、高松サンポート合同庁舎において、「第2回バリアフリー推進四国地域連絡会議」を開催しました。

この会議は、関係する施設設置管理者、当事者団体、有識者、行政等が一堂に会し、現状把握、課題の抽出、取組みの先進事例、対応法策の検討などバリアフリー化の推進に向けた知見の共有を図るとともに、互いによりよい協力関係を築き、連携してバリアフリー化のいっそうの推進に寄与することを目的としています。



会議の様子

会議には、四国管内の自治体、交通事業者、障がい者団体などから28名が参加し、徳島大学大学院の近藤光男教授を座長としてバリアフリーリーダーの選定、行政の施策や取り組みに関する報告、意見交換などが行われました。

バリアフリーリーダーの選定では、(財)香川県老人クラブ連合会の藤川恵一氏、(財)香川県身体障害者協会の長尾弘氏の2名が選ばれました。

意見交換会では、出席者からハード整備に固執せず障害者等が生活しやすくするためにソフト面の整備が重要である、駅施設などが利用者によりわかりやすくなるような配慮をしてほしいなどの意見が出され、今後はさらに連携してバリアフリー化の推進を図っていくことが確認されました。

## 消費者行政インタビュー

高知市内でバリアフリー教室を開催するとき、協力していただいています高知市障害者福祉センターの千頭 哲さん、吉良 将利さん、小川 明希さんにお話を伺いました。

## ○センターの概要について

高知市障害者福祉センターは、社会福祉法人高知市社会福祉協議会の運営する身体障害者通所授産所と身体障害者福祉センターの複合施設です。

高知市障害者福祉センターの1階では身体障害者通所授産所を運営し、2階の身体障害者福祉センターは、社会参加促進事業・障害者相談支援事業、障害者支援窓口事業を行っています。

この中で、社会参加促進事業の一環として行われるふれあい体験学習は、四国運輸局などの各種団体からの依頼を受けて行っています。



左から千頭さん、吉良さん、小川さん

## ○体験学習はどの程度行っていますか？

ふれあい体験学習は、主に高知市内の小・中・高校で、年間に60～70校を訪問して行っています。100名規模の大人数で行うこともありますが、やはり人数が多すぎると効果が薄くなるので、できるだけ少ない人数で行っています。

## ○体験学習の内容は？

車いす体験、アイマスク体験、点字体験、手話体験を行っています。



教室の様子(H20年JR高知駅)

## ○最近印象に残ったことはありますか？

障害のある人は決してかわいそうではないことを生徒に伝えています。

最近、わかりやすく説明するために「自分に例えれば、不得意な教科があって、そこだけを指摘されて、かわいそうと言われたら嫌ですよ。自分のいいところも見てくれとお願いしたいですよ。」と話しかけています。

2月1日の高知新聞に、ふれあい体験学習に参加したことのある小学生の作文が掲載されていました。それは、障害のある人はかわいそうではないという、私達が伝えてきたことを理解してくれている内容でした。とても感心したことでした。





教室の様子(H20年JR高知駅)

### ○体験学習で伝えたいこと

多くの児童は、障害のある人といえば体が不自由であることしか思いつかないようです。そこで、例えば足の不自由な人はエレベーターや車いすマークの駐車場が、目の不自由な人は点字ブロックがあることにより、障害のない人と同じ生活ができていますが、点字ブロックの上に自転車が置いてあったり、車いすマークの駐車場に、それを必要としない人が停めたりすることにより、障害のある人の動作に障壁ができるということを体験学習では伝えています。

また、低学年の生徒には「泣いている下級生がいたらどうするか？なくさめるよね。」というように理解しやすいように説明することになっています。

### ○教室の効果は実感できますか？

教室が終わった後、生徒達が感想文を送ってくれます。その中に「点字ブロックの上には自転車を置かないようにします。」「障害のある人は、環境によって私達と同じ生活ができることがわかりました。」などという感想があると、私達の伝えたいことが理解できていると感じます。

### ○今後・・・

生徒に限らず、企業やボランティア団体への講習会も予定しています。受講者の年齢や目的に応じた内容の講習会を開催して行きたいと考えています。

### ○最後に

体験学習を通して、障害のある人は、私達の地域にあるバリア（点字ブロックの上に自転車を停める・車いすマークの駐車場に、必要としない人が停めたりする等）がなくなることによって、障害のある人も障害のない人も皆が当たり前のように生活できると伝えています。



教室の様子(H19年布師田小学校)

〒780-0935 高知県高知市旭町2丁目21-6  
高知市障害者福祉センター  
電話:088-873-7717  
FAX:088-873-6420  
<http://www.inforyoma.or.jp/genki-support/>

インタビュー実施日：平成21年2月17日 聞き手：長尾、井上



## 愛媛運輸支局交通アドバイザー会議

日 時：平成21年1月30日（金）  
 場 所：愛媛県西条市役所  
 今年度のテーマ：「地域の交通課題と今後の交通政策について～これからの地域の足を考える～」  
 座 長：愛媛大学大学院教授寺谷亮司  
 アドバイザー：寺谷教授ほか7名出席



西条市で初開催となった本会議では、バス停の表示が錆びている、ベンチを設置して欲しいという身近なことから、地域公共交通会議などで地域の交通をみんなで考えていかなくてはいけないなどハード・ソフトの両面から数多くの意見・要望が出されました。

## 会議の様子

直ちに解決できる事柄や、またそうでない問題など様々でしたが、可能なことから対応していき、今後みんなでよりよい西条市をつくっていくことを確認しました。

主な意見提言 四国運輸局ホームページへ掲載予定です。

○JRの列車の利便性等について、利用者にもっとPRすべきではないでしょうか。例えば、寝台列車で東京に行けることなどあまり知られていないように思います。

弊社では、新聞等へのPR広告を定期的に行うとともに、ダイヤ改正等に合わせて様々な媒体により告知宣伝を可能な限り実施しております。また駅や車内の交通媒体を使って列車、商品等のPRにも努めております。今後とも、より効率的、効果的なPRに努めていきたいと考えております。（JR四国）

○障害者が乗降しやすいノンステップ・ワンステップバスの導入を進めてほしいと思います。

平成20年3月末現在で、愛媛県内のノンステップバスの導入状況は、68両で、総車両数(521両)の13.1%で、ワンステップバス53両を加えると121両となり、総車両数の23.2%となっています。（四国運輸局）

○福祉タクシー事業者が増え、病院へ行くのが便利になりました。

現在西条市内で、専業・兼業合わせて7社、福祉車両19両が稼働しています。（愛媛運輸支局）

○使用船舶全てがバリアフリー適合船に改善されることが望めます。

平成20年3月末現在で、愛媛県内の旅客船事業者のバリアフリー適合船の導入状況は、11隻で、総船舶数(63隻)の17.5%となっています。（四国運輸局）

○物理的なバリアフリーが整っても、それを運営していく人の理解が伴わなければ、本当のバリアフリーと言えないと思います。

四国運輸局では、「心のバリアフリー」社会の実現を目指して、平成13年度から各地でバリアフリー教室を開催しています。

特に、平成15年度からは小学生や交通事業従事者を対象とした教室を開催し、高齢者や障害を持つ方への理解を深めています。（四国運輸局）

## 高知運輸支局交通アドバイザー会議

日 時：平成21年2月17日（火）  
場 所：高知港湾合同庁舎  
今年度のテーマ：交通結節点における利用者利便の向上策  
について  
公共交通の利用啓発方策について  
座 長：岩田 裕 高知大学名誉教授  
アドバイザー：岩田座長ほか3名出席



会議の様子

今回の会議では、本年1月25日から運用が開始されたICカード「ですか」の現状確認や今後の要望について、また、スマートモビリティ高知の継続要望、ノーマイカーデーの効果についてなど様々な意見提言がなされました。

主な意見提言 四国運輸局ホームページへ掲載予定です。

○乗り換え情報に関しては現状の“スマートモビリティ高知”が十分に機能を果たしていますが、駅や結節点におけるアナログな案内が不足していると考えます。スマートモビリティはあくまでもサポート用として、誰にでも分かる看板などによるユニバーサルな案内の充実が必要です。せめて全停留所に関係する路線の路線図を掲示しませんか。

運行路線・運行系統図のバス停への掲示については、19年度から自社で作成した運行系統図を随時バス停に掲示してきています。現在の状況は、天王ニュータウン線などに掲示済みですが、今後も張り替えや更新を行っていききたいと思います。

運行系統の番号制を導入して、方向幕・系統幕と運行系統図を連動したものをバス停に表示すれば、少しでもバスが利用しやすいものになると考えますが、路線バスは運行系統が大変多く表示するスペースもなく、かえって煩雑になりかねないと思います。また、運行系統の番号制を導入するには、多額の費用が必要ですので、例えば行き先・経路別の番号制の導入も模索しながら、今後、路線を限定して試験的に実施していく方法もあると考えます。（高知県交通）

○地球環境の観点から、すでに実施している公共交通のエコ活動をもっと推進して、バス利用者の制定はできないか。企業側にはノーマイカーデーの実施要請で、月に一度は公共交通の利用推進を求める。実施者には表彰してもいいし、なんらかの特典があってもいい。県外では、行政が助成しているところもあるとか。精神論だけでなく、見返りがないと、人は動機になりません。

四国運輸局では、平成18年度より過度に「クルマ」に依存するライフスタイルを見直し、公共交通の利用促進を図る観点から、「交通エコロジー教室」を開催しています。20年度は四万十市で開催しました。交通エコロジー教室ではCO2排出量削減を目的に、講義と併せ、パネル展示や将来にわたって公共交通機関利用者となる小学生等に当局作成の子供向けパンフ等を配布し、交通機関や環境問題についての情報を提供して、公共交通利用促進を啓発しています。国土交通省では、平成20年度より地球温暖化対策の推進を図るため、企業・事業所を対象に、モビリティ・マネジメントによるエコ通勤事業に取り組んでいます。21年度には、事業を継続・拡大し、優良事業所認証制度の創設を検討しているところです。（四国運輸局）



## 香川運輸支局交通アドバイザー会議

日 時：平成21年3月19日(木) 14:00～  
場 所：ホテルニューフロンティア  
今年度のテーマ：「高松市内の公共交通機関の利用促進」  
アドバイザー：香川県内から6名出席

本会議では、四国共通のＩＣカードを導入を検討してほしい、お年寄りのためにバスのフリー乗降ができないか、小学生を対象としたのバスの乗り方や乗車時のマナーの教室をどんどんやってほしいなどの意見・要望が出され、交通事業者等は公共交通の利用促進のために取り組んでいくことを確認しました。



会議の様子

主な意見提言 四国運輸局ホームページへ掲載予定です。

○既にＩＣカードを利用した場合の料金割引の適用範囲が、温泉の入浴料や旅館の宿泊料、観光施設の入場料などに広がってきており、利用者拡大の観点から一定の効果を上げているものと考えられる。

但し、現在、料金の割引対象となっている施設の大半は観光客向けであり、更なる利用者の拡大を目指すためには、住民が日常生活で利用する施設やサービス（例えば、ＩＣカードの利用者は若年者が多いと考えられることから、コンビニやレンタルビデオ店など）も対象に広げることが必要であると思う。

当社では、高松市中央商店街を中心に電子マネーサービスを展開しています。ご利用状況から少額決済のご利用が多く、ご指摘のとおり日常生活で利用できる店舗が電子マネーに適しています。したがってそのような店舗にＩｒｕＣａ加盟店に加入して頂きたいと考えており、今後も積極的に加盟店交渉を行っていきたいと考えています。（高松琴平電気鉄道㈱）

○普段あまり公共交通機関を利用することがない子供を対象にして、バスの乗り方などを教える教室を開くことは、子供たちに様々なことを経験する場を与える観点から有益であると思う。

四国運輸局では交通事業者や社会福祉協議会等の協力を得て、小学校などで「バスの乗り方教室」や「バリアフリー教室」を開催して、子供のころから公共交通機関への関心を持ったり、バリアフリーについての理解を深めつつ、ボランティア意識を高めるような活動をしています。

○ＪＲ高松駅への電車の乗り入れは実現できないのでしょうか。

香川県の連続立体交差事業が検討され、平成17年度に事業が一時休止されております。今後、再開された場合には、国・県・高松市などの関係者や学識経験者等で構成する高松琴平電鉄交差問題等検討委員会で検討していきます。（高松琴平電気鉄道㈱）

現在、高松市において総合都市交通計画の見直しを検討しており、その中で、ＪＲ高松駅までのことでの乗り入れについても検討されることになると思います。（香川県）

## さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖を点訳

四国運輸局が発行しています「さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖」。目の不自由な方もご利用いただけるように点訳され、この度完成し、各団体や個人に配付されることになりました。点訳作業を行ったさぬき市点訳サークルコスモスの代表者 有田 幹子 さんにお話を伺いました。

○「さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖」は情報量がかなり多いですが、点訳作業はかなり大変だったことと思われます。

・全てが手作業ですか？

昔は手作業で1冊1冊を作成していました。1冊作ればそれが世界で1冊でしたが、現在はパソコンに点訳ソフトを入れてそれを使用して作業を行っています。更新や変更、増刷といったことが簡単に行うことができるようになりました。今回のバリアフリー手帖以外にも市の広報誌・防災のしおりや図書館の本など多種多様に点訳しています。



さぬき市点訳サークルコスモスにより点訳された  
「さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖」

・今回の作業で大変だったこと・・・

どういうふうにするのかを決定するまでが大変で、それが決まれば作業はスムーズに進みます。会員13名は点訳、機器のメンテナンスなど、自分が出来るボランティアを見つけながら、各自の自宅で作業をし、メールで送信し、集約して完成させています。また、今回はさぬき市社会福祉協議会からの補助もありスムーズにできました。

・利用者からは・・・

障害者にとってトイレの情報は非常に大切です。そういった情報をはじめ、「さぬき路鉄道駅のバリアフリー手帖」のようにここまで詳しいのは今までにありません。それを点訳し、障害者はその情報を読んで、安心して出かけて行きます。先日、交通事業者や各団体に送りましたが、徐々にですが問い合わせや依頼が来ています。

・点訳以外にも活動していますか？

さぬき市にある盲老人ホームや小学生に点字を教えることもあります。小学2年生くらいになると1時間半くらいで覚えてしまいます。非常に早いです。



### ・視覚障害者にとって・・・

視覚障害者で外出された人の3人に1人は駅のホームで転落事故にっています。香川県内の駅にも危険な箇所はまだあります。ホームと車両の間など視覚障害者にとっては非常に危険です。

逆に高松駅はフラットで非常に利用しやすいとよく聞きます。盲導犬利用者の方もそうおっしゃっていました。

視覚障害者にとって、情報収集の手段として、冊子などの情報を各自が持っていればいいと思います。



### ・今後・・・

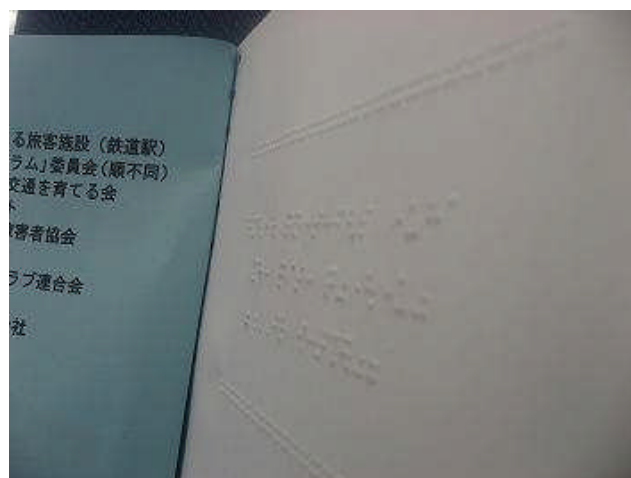
視覚障害者31万人の1割程度が点字利用で、点字を利用されています。点字は視覚障害者の文字で情報を得る手段です。

点字で情報を得て、率先して外出する人もおられますが、まだまだ少ないのが現状です。

また、普段は家から出てこない人がたくさんいらっしゃるの、そういう方の外出するきっかけになってもらえればと思います。

さぬき市はJR志度駅、琴電志度駅があり、また、平賀源内記念館などの観光施設もたくさんありますので、交通、道路、施設などの情報をまとめることができれば非常によいものができると思います。

「さぬき路鉄道駅のバリフリ手帖」については、今回のように今後も改訂をして欲しいと思います。また、改訂するときには一声かけていただければ私たちも点訳作業を行っていきたいと思います。



### ・・・さぬき市点訳サークルコスモス・・・

点字の知識を高め、視覚障害者の生活と社会参画を支援する活動を目的とし、点訳絵本の作成や点字に関する啓発、研修を行ったりしています。現在の会員は13名で、毎月2回は定期的に集まり点字点訳に関する勉強会を開催しています。

#### ～お知らせ～

今回、点訳されました手帖はJR四国、ことでの他、各障害者団体や個人あて86部お送りされているとのことです。当課にも1部見本としてお預かりしていますのでご覧ください。

また、手帖についてのお問い合わせ先はこちらです。

社会福祉法人さぬき市社会福祉協議会

所在地：さぬき市長尾東888-5

電話：0879-52-2950





## 鉄軌道駅でバリアフリー化が進んでいます

平成20年度も四国各地の鉄軌道駅でエレベーターやスロープの設置などのバリアフリー化が進んでいます。

今回は、四国旅客鉄道の今治駅、高松琴平電気鉄道の花園駅、土佐電気鉄道の栈橋車庫前電停の3駅を写真で紹介します。



今治駅:エレベーター



花園駅:ホームへのスロープ



栈橋車庫前電停:スロープ



今治駅:多目的トイレ



花園駅:ホームの誘導用ブロック



栈橋車庫前電停

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。



〒760-0064 香川県高松市朝日新町1-30

電話 087(825)1174

FAX 087(822)3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

四国運輸局ホームページもご覧下さい

<http://www.skt.mlit.go.jp/>

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心に、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNP0の方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。